

# 自然観察NOW

No.9

野幌森林公園自然情報

発行：2016年3月27日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

## ■道立自然公園「野幌森林公園」の成り立ちと野幌丘陵のできごと

人口190万人を超える大都市近郊に、2053haもの広い平地の森林帯が保存されているのは、日本では例がありません。自然林は、落葉広葉樹を主体として常緑針葉樹が混生する針広混交林です。森の中や周辺には適度な池や水場があり、水鳥や天然記念物のクマガラなど森林の野鳥の観察地としても知られています。

また、エゾリス、エゾユキウサギ、エゾヤチネズミ、エゾクロテンなどの小動物や昆虫類も多く豊かな動物相が保たれ、野草もランの仲間をはじめ豊富な植物が生育しています。

そんな潤沢な生物環境を育む大地の地質的概況を見てみましょう。

### 1 野幌丘陵の成り立ち

#### プレートのせめぎ合い

150万前、石狩海峡（日本海と太平洋を結ぶ浅い海\*）にユーラシアとオホーツクプレートとの押し合い圧縮で、野幌・馬追丘陵の原型が発生し、圧縮運動の継続で高さを増し陸地が拡大、現代の丘陵の構造が形成される。

※丘陵の下層土からは、寒冷・温暖期種々の貝類など海生生物の化石が出現します。

#### 氷河期の到来で石狩平野がかく乱

7万年前には最終氷期が始まり、海面が今より50m以上低下し石狩平野は大湿原へと変貌し、河川・海岸浸食が進行し土砂が堆積する大地が出現し石狩川の原型が完成。

#### 支笏湖噴火の置き土産

4万年前に支笏火山の巨大噴火が起こり、広大な火砕流台地が出来上がり、太平洋へ流れていた石狩川は堰き止められ、日本海へ注ぎ込むことになりました。

#### 現在の森林の始まりはわずか1万年前

石狩平野の南東部の半島状に突出したなだらかな野幌丘陵では、古くから森林を中心とした豊かな自然が残されています。この南北に延びる野幌丘陵地帯には、新生代第四紀の更新世(1万年から200万年前)に出来た幾つもの地層が分布しています。堆積した時代ごとに区分されており、地層を調べることによって、変化に富んだ石狩平野の生い立ちや丘陵部の環境の移り変わりなどを知ることが出来るのです。

## 2 野幌森林公園および周辺のできごと(明治以降から現代)

内容	経過	摘要
野幌原始林は残った	関矢孫左衛門は、明治 32 年①水源の涵養②自然災害の防止③気象環境の緩和などを理由に森林の重要性を強調し、和田郁次郎(北広島市の開拓指導者)と共に分割払下げを阻止し、原始林を残すことに成功。	「野幌部落史」(関矢マリ子著、昭和 22 年)
駐蹕の碑	昭和 11 年、昭和天皇が野幌原生林へ行幸、記念に建立られたもの(昭和 13 年)。この年、ヒグマが林内に出没し、大騒動が発生。最後の出没が昭和 16 年との記録あり。	「森に生きる」(井上元則著、昭和 62 年)
瑞穂の池・大沢の池の造成	昭和 3 年、大曲(30ha)・小野幌(140ha)地域の水田貯水池を原始林の沢地約 13ha に「みずほの池」造成。昭和 28 年、野幌中部水利組合が沢地 3.2ha を「大沢の池」造成。	大麻開基 100 年記念誌及び「自然観察 now」2003 年 7 月号引用
酪農学園の丘陵でのスタート	昭和 17 年、苗穂の「北海道酪義塾」が森林の隣地の現在地に移転。22 戸の既存農家中 15 戸が了解し、元野幌の豊平川沿いに移転。	酪農学園だより vol141(仙北富志和氏インタビュー)
野幌高校教員養成の悲劇	昭和 26 年 9 月 30 日早朝の火災で、道立野幌高校*(道立教育研修所併設)で高校の助教諭を目指していた、長期宿泊研修中の女子 7 名が焼死。※現在の登満別苗圃跡(西野幌)。	「1951 年野幌の森の中で」野幌高校教員養成課程 40 年記念誌(平成 3 年発刊)
戦後緊急開拓の実施	昭和 20 年野幌原生林 2,198ha を解除、入植。	「森に生きる」(井上元則著)
野幌自然休養林・道立自然公園に指定	昭和 43 年、北海道百年を記念して道立自然公園に指定。44 年国有林 1,600ha が自然休養林、53 年昭和の森に指定される。平成 13 年、自然学習の場として自然ふれあい交流館(大沢口)がオープンした。	北海道のホームページ
水道施設の建設(昭和 56 年供用開始)	昭和 56 年、大麻・野幌地区の水道水供給施設の大麻高区配水池が林に建設、供用開始。	江別市の HP
野幌森林再生プロジェクトの実施	平成 16 年台風の風倒木被害の回復運動が、民間 12 団体などの再生プロジェクトで平成 17 年度から様々な森林再生活動を開始。	北海道森林管理局のホームページ

(文責 北海道ボランティア・レンジャー協議会 三井 茂)

4 月の観察会 4 月 21 日(木):春の花を見つけよう(10:00~12:30)

集合場所:自然ふれあい交流館

